

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度第1回佐渡市ケーブルテレビ放送施設番組審議会
開催日時	令和元年10月2日 14時00分開会 14時30分閉会
場所	金井コミュニティセンター
議題	放送番組「もっと知りたい！イチオシ夏の佐渡観光編」について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>委員</p> <p>会長 塚本明人 委員 中川奈保子 委員 藤井 光 委員 本間千奈未 委員 佐藤達也 委員 北村 龍 委員 菊池はるみ 委員 木村章平</p> <p>事務局</p> <p>総務課長 中川 宏 広報戦略室長 高野凡子 広報広聴係長 太田一人</p> <p>株式会社佐渡テレビジョン (指定管理者) 制作部長 林 隆行</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
塚本会長	あいさつ
事務局 中川課長	放送番組「もっと知りたい！イチオシ夏の佐渡観光編」について あいさつ
事務局 高野室長	もっと知りたい！は、平成30年1月からスタートした番組で、市
	での取り組みや制度など、広く市民に知ってもらいたい内容を30分 枠で毎日5回放送している。
	今回審議いただく番組は、7月から9月にかけて放送した、島民 があまり知らないと思われる佐渡の魅力、体験スポットやお得な情 報などを紹介したもので、夏休み期間中の子どもや観光客などに紹 介することを考え、内容を主人公のトキ坊が紹介する形で制作した。
北村委員	体験内容を深く掘り下げて紹介し、しっかり作ってあるが、約30 項目の様々な体験テーマがあるのなら、静止画で短くてもいいので 他の体験を紹介してほしい。
本間委員	取り上げたテーマがよかった。島民ほど観光に行かない。島外の 人に定番の観光地以外の場所や体験を紹介できる。こういった内容 こそ発信してほしい。出演者も観光に携わっている方たちで手 作り感があって親しみ深くてよかった。
木村委員	笑いも入っていておもしろかったし、意外と住んでいても知らない 情報を知ることができた。体験の映像があったため、イメージが しやすく、問い合わせ先などもテロップを用いて紹介していたので よかった。パンフレットでトキ坊がプレゼンテーションをしていた ところは、あえて映像を使わずパンフレットのPRにもなっていて よかった。
菊池委員	おもしろくて見入ってしまった。トキ坊の演出と携わっている人 のナレーションでわかりやすかった。サドベンチャーの内容はチラ シで小学生などに配られてはいるが、チラシを配られても見ない人 でもこの番組を見ることにより、興味を持ってもらうきっかけにな るのではないか。ただ、チラシを持っている人でないと申し込み方 法や値段がわからない。チラシを持たない人が申し込みする場合の ことを考慮していただけるとなおい。
佐藤委員	私の意見は、皆さんが言ってくれたので、特に申し上げることは ない。
藤井委員	不祥事が続く市役所が取り組んだ仕事にしては、まじめに作られ ている印象だ。過去5年の番組の中でもメダル候補に入る作りだ。 努力してまじめに作ったもので、いい取り組みをした。
中川委員	興味深く見ることができ放送時間の30分が短く感じた。パンフレ

<p>北村委員</p>	<p>ットを紹介した際に、他の体験内容を紹介した方がよかった。夏休み中の自由研究の参考になる内容はなるほどと思ったが、興味のない人はチャンネルを変えようと思う。また、パンフレットだけでなく実際の映像を織りまぜてあってよかった。</p> <p>番組内で紹介された青の洞窟などは、これまで写真を見ただけだったが、実際の映像を見て、子どもを連れて行きたいと思えるような内容だった。トキ坊も台詞ではなく、自分の言葉で話していた。若者が使う言葉も混ざっていたが、それはそれでいいと思った。</p>
<p>塚本会長</p>	<p>見やすく、わかりやすくいい番組だった。唯一気になったのが、島民としては島外の人に体験を紹介しようと思っても申し込み用紙が手元にない場合、佐渡観光交流機構に問い合わせればいいのだろうが、そこまではしない人がほとんどだと思うので、見る側としてはすごくもったいない気がした。それだけ眠らせておくにはもったいない体験が多い。</p>
<p>木村委員</p>	<p>本日欠席の鈴木委員の意見を預かっている。番組内で取り上げたサドベンチャーは受入側で手伝ったことがある。屋外の場合、当日の天候次第では体験の提供ができなかつたりするので企画する側としては気が抜けない。様々な体験を用意されていて、さぞ大変だろうと思う。島外の観光客向けだけではなく、島民向けにもいろんな体験ができるように企画してほしい。番組では多少ぎこちない演技ではあったが、佐渡観光交流機構の手伝いたいという気持ちはくみ取ることができた。「こういうものをやってみたい」という企画を募集してみてもいいのではないかな。との意見である。</p>
<p>事務局 高野室長</p>	<p>今回の番組は夏の体験がテーマであったが、冬の体験など季節毎に変えて紹介するといいいのではないかな。</p>
<p>事務局 高野室長</p>	<p>現在、冬観光編を企画中で、今後収録に入る予定となっている。11月から12月にかけての放送を予定している。</p>
<p>塚本会長 事務局 高野室長</p>	<p>冬観光編はどのような内容か。</p> <p>都会の方が利用できる体験等を取り上げる予定で、島民の方から島外にいる知人の方に紹介してもらうことを含め詳細を観光振興課と打ち合わせを行っている。寒ブリを釣るところから取材する構想もあったが、スケジュール面で調整がつかず断念した。</p> <p>今回ご覧いただいた夏版でも、できるだけ体験を多く紹介したい思いで提案はしたものの、30分の枠に収めるために、やむなく紹介を諦めた体験もある。</p>
<p>塚本会長</p>	<p>この番組を見ると佐渡には観光のみならず教育に役立つ資源も豊富なことがよくわかる。こういった佐渡の資源を紹介する番組は今後も継続して制作してほしい。天候に左右されることもあるだろうから、天候不順で体験をできない場合はこうだというフォローを紹</p>

藤井委員	<p>介する必要があると思う。</p> <p>以前から寒ブリは時化の後によく水揚げがある。佐渡でも時化の後に寒ブリ注意報とか寒ブリ警報というようなおもしろい言葉を使って発信することで、話題になり全国的なニュースになると思うので、検討してほしい。</p> <p>シーカヤック体験を琴浦から出発したが、せっかく虫谷の入り江を紹介したのなら、画面に取材場所がわかるポンチ絵を挿入すると、位置関係が視聴者の頭に入ると思う。</p>
塚本会長	<p>琴浦の場所は知っているが、虫谷の場所はわからない。ただ、この番組を視ていい場所だと感じた。</p> <p>以上で終了する。</p>